



学校だより

月影寮との交流 村上小学校



四年東組 山岸壮太 やまがしそつた

一回目の交流会は、月影寮の体育館でやりました。月影寮の体育館に入るときに、きんちようして入るのがこわかったけど、中の人たちが出むかえてくれたので、少し楽しみな気持ちで入れました。入ったら、まず寮長の花見さんのお話を聞きました。障がいについての話と、暮らしやすい町についての話を聞きました。障がいのある人でもくらしやすい町があることで、楽しい生活ができるなと思いました。次に月影寮の人たちの自己紹介がありました。声の大きい人や、声が聞き取りにくい人がいて、障がいもさまざまあるんだなと思いました。最後に、全員でジャンケンゲームをしました。一回目の交流会は終わりにになりました。月影寮にいる、障がいのある人たちは、ひとりで生活するのが大変だと思うので、月影寮のしせつはとてもいいと思いました。ぼくのおばあちゃんも、目に障がいがあるので、助けてあげようと思います。

二回目の交流会は、村上小の会議室で行いました。月影寮の人たちが来たら、一緒に人權の花の植えかえ作業をしました。ぼくの班はYさんと一緒に植えかえをしました。やり方を教えようとしたら、なれた手つきでポットから土を出していてびっくりしました。植えかえがあつという間に終わったので、Yさんといっしょにジャンケンゲームをやりました。Yさんはとてもジャンケンが強かったです。Yさんの言っていることはあまりわからなかったけど、ジャンケンで遊ぶのがとても楽しかったので、次の交流会も楽しみます。



四年東組 池内聖琳 いけうちせり

六月に、月影寮に行つて交流会をしました。月影寮にはいろいろな障がいのある人たちがいて少しびっくりしました。はじめに障がいのことについて寮長の花見さんのお話を聞きました。車椅子のことや、月影寮の方たちのことを教えてもらいました。とてもいい勉強になりました。その後自己紹介をしました。私はクラスで一番はじめに言ったので、とてもはづかしかつたです。でも、スラスラはつきり言えたので、よくできたと思います。

交流会の最後に、ジャンケン大会をしました。交流委員で代表を二人決めて前に出ました。ジャンケンのうちわを一つ決めて、みんなに見えるように上げて、負けてしまった人はすわつていきます。とても楽しくできてよかつたです。

障がいのある月影寮の方たちは、あと出しをしてしまつたりしていたけど、村上小の四年生は、何も言わずに楽しくやつていました。

これからも、少しずつ障がいの勉強をしていきたいです。また、月影寮の方たちといっしょに、遊びたいです。

食育だより



9月1日は防災の日!

学校給食で「防災教育献立」を

提供しました

防災教育は、地震や台風などの自然災害に対し、避難訓練を行つたり備えを見直したりして、自分の命を守るためにとっても大切です。

防災の備えとして食育・学校給食センターでは、給食が提供できない時の対応策に、全国の栄養教諭・学校栄養職員が開発した「救給カレー」を取り入れられないだろうかと考え、8月26日(月)の「防災教育献立」として提供することにしました。今回給食で一度食べておくことによって、いざという時にも子どもたちは安心して食べることができます。

この機会に皆さんも災害時の備えについて考えてみませんか。

救給カレー



東日本大震災の教訓から、子どもたちの栄養バランス、心、体力のことを考え、救護物資が届くまでの「いのちをつなぐ」非常食として開発されました。カレーとご飯が入っていて、冷たいままでも美味しく食べられるのはもちろん、国産の原材料を使い、かつアレルギー特定原材料等28品目は不使用です。

食育・学校給食センター
82-2559

